



12時間以上におよぶ実力闘争を闘い抜き、元気に発言する市東さん
(2月16日)

強制執行弾劾！ 農地を返せ！

二月一五日から一六日で成田空港会社と千葉県警は三里塚芝山連合空港反対同盟農民・市東孝雄さんの農地を強奪する強制執行を强行した。徹底的に弾劾する！ 市東さんの農地、當農作業機器、生活の全てをかえせ！ 農地は命だ！ 宦農破壊を許さない！ 反対同盟のやぐら・看板の撤去を許さない！ この全く不当な暴挙に対し数百に及ぶ支援が集結し、深夜から早朝にかけての断固たる抗議闘争を展開した。強制執行との闘いは、三里塚闘争史上に巨大な地平を切り拓いた！ 続く3・26芝山現地闘争は、この強制執行阻止決戦の地平を確認し、あらためて空港会社と千葉県警に対して怒りを爆発させる場である！ 万難を排して芝山現地に結集しよう！

**農地強奪を許さない
強制執行弾劾！**

強制執行弾劾！ 農地強奪を許さない

**市東孝雄さんの農地に対する
強制執行を弾劾する**

三里塚芝山連合空港反対同盟

(1) 三里塚芝山連合空港 反対同盟は、同盟員の市東 孝雄さんの農地と建物およ び反対同盟所有のやぐらと 看板を破壊し、強奪した強 制執行を煮えたぎる終りを もつて弾劾する。市東さん を「合法」とした千葉県警・機動隊、そしてこの犯罪行為 が祖父の代から一〇〇年に を、反対同盟は未來永劫許 わたって耕し続け、豊かな さな。

(2) 二月一五日、成田空港 と生活の場を暴力的に奪い 会社(NAA)と千葉県警・ 機動隊は、今回の執行を卑 去り、國家権力による六〇

今回の執行によつてもできぬ。コロナによる旅客激減もある。「経済的理由」は何もない。真の理由は、ウクライナで戦争の火が吹き、アメリカとともに大軍拡と戦争に突き進む岸田政権による中国侵略戦争の準備が加速する中で、国家権力と実力で闘い、軍事空港粉碎を掲げてきた三里塚闘争をつぶすというのだ。米中戦争をシミュレーションした米シンクタンクCSIS報告書には「地元の政治的反対」をつぶし「米日が民間の国際空港を利用できるよう動く必要がある」との記述もある。「国策」「国益」心を一つに団結して闘いぬく。

(4) 反対同盟と支援の仲間は、夜を徹して市東さんとの身も張り裂けるような怒りを共にし、農地を強奪し、農地を奪うとする機動隊の阻止線に弾劾し、空港陸港まで闘つ抜く。市東さんの営農と対峙し、やぐらや離れの生活を取り抜き、奪われた家の屋根の上で徹底抗戦を貫いた。二〇代の学生から七〇代までが「農地死守・

（4）反対同盟と支援の仲間は、夜を徹して市東さんとの身も張り裂けるような怒りを共にし、農地を強奪し、農地を奪うとする機動隊の阻止線に弾劾し、空港陸港まで闘つ抜く。市東さんの営農と対峙し、やぐらや離れの生活を取り抜き、奪われた家の屋根の上で徹底抗戦を貫いた。二〇代の学生から七〇代までが「農地死守・

う。このような政治の延長にに戦争がある。反対同盟が当初から掲げる「三里塚軍事空港粉碎」のスローガンは、今こそ高く掲げられるべき時だ。

（4）反対同盟と支援の仲間は、夜を徹して市東さんとの身も張り裂けるような怒りを共にし、農地を強奪し、農地を奪うとする機動隊の阻止線に弾劾し、空港陸港まで闘つ抜く。市東さんの営農と対峙し、やぐらや離れの生活を取り抜き、奪われた家の屋根の上で徹底抗戦を貫いた。二〇代の学生から七〇代までが「農地死守・

いた。不当逮捕された三人の学生たちを即時奪還しう。執行は強行された。しかしながら掲げる「三里塚軍事空港粉碎」はますます固く、三里塚闘争の正義性はますます明るさを増し輝いている。反対同盟は、今回の国家権力・NAOによる暴挙を徹底的に弾劾し、空港陸港まで闘つ抜く。市東さんの営農と対峙し、やぐらや離れの生活を取り抜き、奪われた家の屋根の上で徹底抗戦を貫いた。二〇代の学生から七〇代までが「農地死守・

強制執行弾劾！

農地強奪を許さない

昨年一〇月一八日、空港看板などの強制執行を千葉会社は市東孝雄さんの農地地裁に申し立てた。反対同盟と作業小屋等の建物、そして反対同盟所有のやぐら・を実力で阻止する二四時間第一に確認すべきは、

われわれは強制執行と闘いを以下の観点において闘い抜いた。

の座り込み闘争に入り、を越えての長期決戦を貫した。二月の強制執行阻撃は五ヵ月間にわたる防として闘われてきたものである。

孝雄さんと父親である故東市さんは小作料を前地主に毎年きちんと収めていた。しかししながら空港公団（当時）は一九八八年に底地を直接耕作者である市東家には無断・秘密で旧地主から買収した。そして十数年もたつてから登記して「空港会社が地主だ」と名乗り出た。第二に確認すべきは、空港会社には市東さんの農地を強奪する必然性・逼迫性として正當な主張にもとづいた闘いである。「耕作者の権利あり」という主張のどこが間違っているのか。強制執行を阻止する断固たる実力闘争は当然にして、正義の闘いである。

そもそも、飛行機の安全強制執行の通知書面の交付は一〇月一八日、そして実際に市東さんが受け取った日は翌一九日である。この日、空港会社はB滑走路の延伸部分と交差する東門工事に着手している。すなわち空港会社は空港機能強化・拡張工事と一緒に強制執行に動工と一体に強制執行に動工することを決意し、空港

それが強制執行の実態であり、回から五〇万回に増やす、本性なのだ。

しかし、こうした空港会社の自論見も反対同盟と支援の体を張った闘いで粉碎された。空港会社が住民無視の暴力的手段で空港を建設するのであれば、強制執行阻止闘争のような実力闘争が爆発することが実践的に証明

めに新たに第3滑走路＝C滑走路の建設、そしてB滑走路を一〇〇メートル北延伸する。空港敷地面積を一二九八haから約二倍の二九七haに拡張するといふものである。「二〇一九年の完成」を目指すとされてい

六年段階で発表された基本計画なるものはいかなる位置づけになるのか。「公共事業」として基本計画に基づいて事業認定を受けたはずである。この基本計画をどう都合主義的に変えるといふことは、ブルジョア法の下

港会社には市東さんの農地を強奪する正当性は一切ないということだ。
すでに何度も確認されて
いるように、空港会社が市東さんの耕作地の底地の買収は当事者であった市東東市さんに一切秘匿したまま
強行したという事実が、この問題の発端である。市東東市東さん
の農地を強奪する手法はなんの正
るのか？ これは欺である！ 空港
会社は市東さん要求してきたの
來、裁かれるべきちらなんだ！

空港公団一空港会社で運転を行っている。また市東さんの農地の影響で円滑な運用に支障がでた事例は、だ！ 本多のはど農地を奪い誘導路を整備したとしても、現在の「く」の字の形を直線にすることはできず、誘導路の形状によっては、強制執行が空港機能拡張計画・第三滑走路建設策動、一体になった攻撃である、といふことだ。

第3滑走路建設阻止

3・26芝山現地闘争に結集しよう

強制執行弾劾！ 農地を返せ！

空港機能強化反対！ 空港拡張阻止！

て、一一〇七年に市東さんに立ち退きを求める裁判を起こした。空港会社は市東さんとの賃貸関係を解約する手続きを行い、これを拒否する市東さんを訴えたのである。

市東さん宅地・農地の軒生を承知の上で、空港公団は建設に反対してきた。そもそもはまつたくないにも関わらず強制執行を强行したといふことだ。

市東さんの農地の強制執行に対する空港会社の言い訳は、「誘導路の一部が土地を避けて湾曲しており、効率的な軍航に影響がある」の空港建設計画そのものの導路建設は外から後から立ち込まれた問題である。こ

されたのである。この実力で、強制執行後に、いこう！
空港会社は昨年のヤグラ裁判における高裁判決と仮執行宣言を受けての判断と、それが動機の一部で、しない。空港会社の政治的、二、第三の強制執行阻止闘争」を合言葉とする住民闘争が空港反対闘争の未来を切り拓くに向けて、空港反対派の闘争が空港反対闘争へと闘いを継続している。二、一五日—一六日の激闘は、東さんの農地を守り抜くことと同時に、三里塚闘争—一九七〇年五月二日—に亘る闘争が再燃する形で、闘争が空港反対闘争へと闘いを継続している。二、一五日—一六日の激闘は、東さんの農地を守り抜くことと同時に、三里塚闘争—一九七〇年五月二日—に亘る闘争が再燃する形で、

空港機能強化粉碎 第3滑走路建設阻止

26 芝山現地闘争で確認して
めぐ闘い

に突き進もう！



100名余の労働者が結集し、賃上げ要求の声をあげた（2月17日 経団連前）

反性暴力団体の活動家は、性暴力を取り扱う法を変えるためには、まず刑法上の保護法益を貞操権から変更する必要があることを理解していた。そこで生み出されたのが「性的自己決定権」だ。女性学者シンサンスは、「一九九〇年代の女性たちが自分の人生の主体性を強めることによって、性暴力の適用範囲をさらに拡大させるための事前作業だった」という点だ。

誰もが自分の人生の主体として、愛・恋愛・結婚・性的関係をいつ・誰と・どのように結ぶか、あるいは結ばないかを他人に干渉されることなく自ら決定する権利を持つということが「性的自己決定権」だ。多くの場合、同意や拒否こそが性的自己決定権だと認用されている。「自分の身体の定權」だ。女性学者シンサンスは、「私は人ではなく、動物を殺した」と絶叫し、当時の韓国社会に大きな衝撃を与えた。

性運動が性暴力を「性的自己決定権の侵害」として定義しようとした理由で被害女性の方が处罚を受けた事件だった。一九九一年には子供の頃自分を強かんした加害者と二年ぶりに会った女性が加害者を殺害する事件が起きた。裁判の過程でその女性は「私は人ではなく、動物を殺した」と絶叫し、当時の韓国社会に大きな衝撃を与えた。

反性暴力団体の活動家は、性暴力を取り扱う法を変えるためには、まず刑法上の保護法益を貞操権から変更する必要があることを理解していた。そこで生み出されたのが「性的自己決定権」だ。女性学者シンサンスは、「一九九〇年代の女性たちが自分の人生の主体性を強めることによって、性暴力の適用範囲をさらに拡大させるための事前作業だった」という点だ。

既存のフェミニズムの多くは異性愛規範性（異性愛関係を基本の土台として構築した社会秩序）と非トラン

ス規範性（非トランスを人間の基本値として規定す

る社会秩序）を前提にして

現在、性暴力を語る際に、その被害者は「生物学的女性」に限定されており、トラン

ス規範の論理と一致してしまったために問題があ

る。アメリカで男性ジェンダ

ーとして生活していたブラ

ンドン・ティーナ／ティ

ナ・ブランドンは、偶然に

ブランデン・ティーナ／ティ

ー・ブランドンが女性

（トランスジェンダー・ク

ニアとは異性愛＝性別二元

論的ジェンダー規範と身体

の正當性に抵抗する持続的

な生の態度、経験、認識論、

社会の混乱と「誤解」をト

ランスジェンダー・クライ

ア」とは異性愛＝性別二元

論的ジェンダー規範と身体

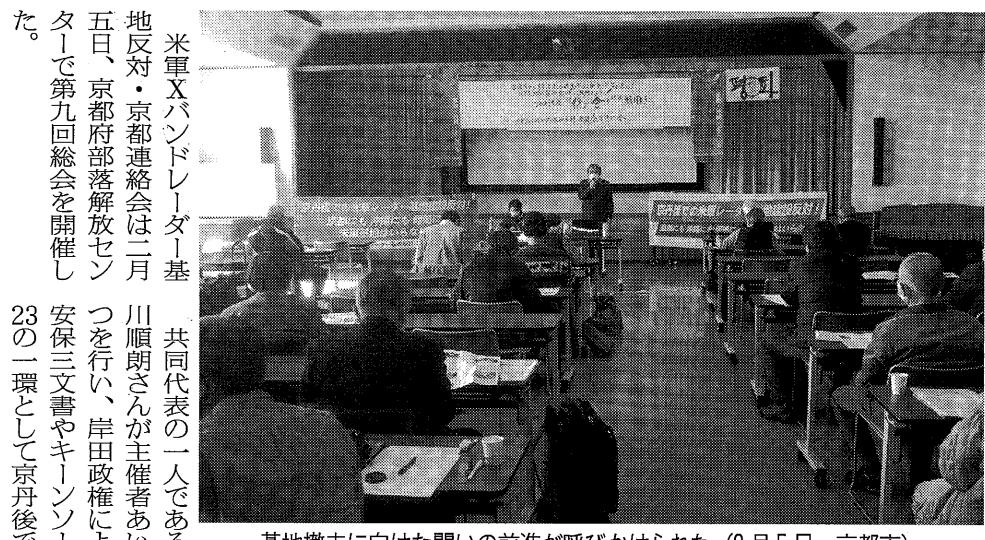
の正常性に抵抗する持続的

な生の態度、絏験、認識論、

社会の混乱と「誤解」をト

ランスジェンダー・クライ

米軍Xバンドレーダー基地反対 京都連絡会が第9回総会を開催



基地撤去に向けた闘いの前進が呼びかけられた（2月5日 京都市）

米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会は二月五日、京都府部落解放センターで第九回総会を開催した。共同代表の一人である瀧川順朗さんが主催者であることを述べ、岸田政権による安保三文書やキーンソードの一環として京丹後で行